

生涯  
学習課

## 大人としての第一歩

平成30年度庄原市成人式

記念行事では、リオデジャネイロオリンピックの金メダリストで庄原市出身の金藤理絵さんが自らの経験をもとに、「目標を持って夢に向かい、決断する勇気をもってほしい」と新成人を激励しました。

新成人を代表して、藤井基久也さん（東城町）は、「これからは支える側として、社会にお返ししていきたい」と決意を述べました。

はじめに、木山耕三市長が「支えてくれる皆さんの感謝を忘れず、夢の実現のために力を発揮してほしい」と式辞を述べ、新成人に記念品を贈りました。

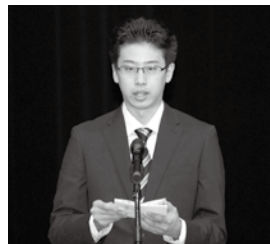
8月15日、庄原市民会館で、平成30年度庄原市成人式を開催しました。ことしは平成10年4月2日から平成11年4月1日まで生まれた人が対象で、市内在住者および出身者319人のうち215人が出席しました。



金藤理絵さんが「10年後の自分へ～決断する勇気～」と題し講演



昨年の成人代表の深井理志さんから新成人の初木有希さんへ花束の贈呈



決意表明する藤井基久也さん



木山市長から瀬尾稜那さんへ記念品の贈呈



新成人の皆さんをドローンを使用して撮影

### 教育指導課 庄原の子どもたちと中国の子どもたちの交流

中国四川省綿陽市青少年訪問団が庄原市を訪問



折り紙での交流(上)と空手の披露(下)

8月2日から3日まで、市と「経済技術友好協力協定」を結ぶ中国四川省綿陽市の富楽実験小学校の児童7人と引率者3人が庄原市を訪問しました。綿陽市との交流は29年目を迎え、この度の訪問により計600人の両市関係者が相互訪問したことになります。

初日、綿陽市青少年訪問団はホームステイ先(3家庭)の児童と一緒に、備北丘陵公園でわら細工(とんぼづくり)やカブトムシ観察を体験した後、木山耕三市長を表敬訪問しました。歓迎夕食会に出席し熱烈的な歓迎を受けた後、7人の児童はホームステイしました。

2日目は、庄原小学校を訪問しました。庄原小の児童は、茶道の作法や折鶴の折り方を教えたり、空手の型を披露したりしました。一方、綿陽市の児童は、切り絵を教えたり、民族楽器や即興ダンス、詩吟を披露したりするなどして、お互いの文化を知ることができました。

同じ世代の子ども同士の交流を通して、友好の絆を深めることができました。

### 観光振興課 庄原の魅力を発信

庄原新ご当地グルメ「庄原やさい寿司御膳」「比婆牛丼」を味わうモニターツアー



やさい寿司作り体験の様子

8月10日、庄原観光いちばん協議会は新ご当地グルメと市内観光のモデルルートなどを巡るモニターツアーを実施し、27人の広島大学留学生が参加しました。

ひろしま県民の森では、「やさい寿司」作りに挑戦し、酢飯を握り、塩こうじなどで下味をつけたパプリカ、キュウリなど好みの野菜で6種類の寿司を握る体験を行いました。また、熊野神社や帝釈峠などの観光地も散策し、夕食に「比婆牛丼」も試食しました。参加者は「庄原市についてまったく知らなかったが、食べ物のおいしさ、観光地の美しさ、スタッフの優しさなどにとっても満足しました。一番忘れたいのは寿司作りだと思います。友達にも紹介して、また来たいです」と喜んでいました。

ツアー後、参加者はSNSを使い、庄原について母国語でも発信し、インバウンドプロモーションを行って来ています。本年度、本協議会では新ご当地グルメを国内外の観光客へ広くプロモーションし、「おいしい庄原」を積極的にアピールしていきます。庄原新ご当地グルメなど「おいしい庄原」について興味のある店舗はぜひ協議会(事務局・観光振興課 ☎0824・73・1179)までご連絡ください。

### 生涯学習課 埋蔵文化財を未来へ伝えるために

庄原市埋蔵文化財センターがオープン



施設入口でテープカット

8月7日、庄原市の埋蔵文化財拠点施設となる「庄原市埋蔵文化財センター」がオープンしました。

この施設は、旧田川小学校(濁川町)の校舎を改修し、合併前の旧市町教育委員会が実施してきた埋蔵文化財発掘調査で出土した出土文化財や報告書を集約・調査研究・保存整理するため、また、勾玉作りなど郷土学習支援事業を実施する施設として、平成27年度から整備したものです。

施設内には、ダンボールなどで500箱にもなる出土品や報告書を整備する収蔵室・図書室、本施設の仕事を説明する展示室や郷土学習を体験する研修室・講座室などがあります。その中



勾玉作り(体験事業)の様子

で、研修室と講座室は避難所としても利用できるよう、空調設備を設置しています。

オープンイベントは、関係者や地域の方々100人が参加し、テープカットや庄原北保育所園児による歌のアトラクションなどが行われました。オープニングイベント終了後、施設の内覧会を行い多くの方が見学しました。また、庄原北保育所、川北放課後子供教室、高放課後子供教室の子どもたちが勾玉作りを体験し、自分が気に入ったように勾玉を作り喜んでいました。

本施設の見学など使用を希望する際は、生涯学習課(☎0824・73・1189)までご連絡ください。

### 社会福祉課 不戦を誓い、恒久平和を願う

庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典



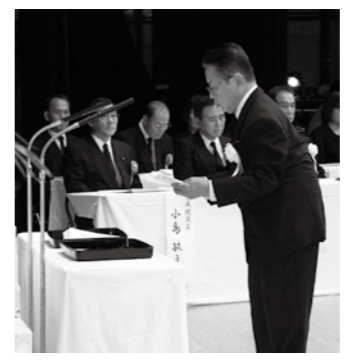
庄原中学校吹奏学部による演奏

8月22日、庄原市民会館で、戦没者に哀悼の意を表し、恒久平和を祈念する「庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典」を行いました。遺族をはじめ、児童生徒など市民約600人が参列し、黙祷や献花などを行い、本市出身の戦没者2923人の冥福と平和を祈りました。

式典で、木山耕三市長は「これからも命の尊さ、悲惨な戦争、そして大切な平和について子や孫に語り継ぎ、真に豊かな社会の実現に向けて、一層の努力を惜しんでいかならない」と平和への思いを述べました。また、峰田小学校児童による合唱と、代表の福場大貴さん・森田麗菜さんによる平和の誓いがあり、「庄原の、日本の未来を創る担い手として、世界の人々に広島メッセージを伝え続けていきます」と力強く述べました。



峰田小学校児童が平和の誓いを述べた後合唱した



遺族会の井澤聖昭会長による追悼の辞



参列者全員での献花

### 自治定住課 帰省者へ帰郷を呼びかけ

しょうばらUターン・空き家相談会



相談の様子

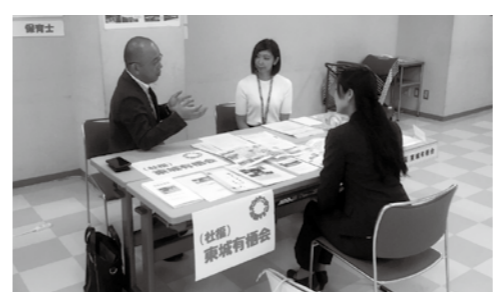
8月11日に東城町のトリーエで、12日に西本町の庄原ショッピングセンタージョイフルで、庄原市へのUターン希望者と空き家所有者向けの相談会を開催しました。相談会はお盆の帰省者をターゲットに開催し、県内各地や関東圏、関西圏在住の本市出身者の方々が、仕事や住まい、空き家などに関する相談に訪れました。会場には10人以上の相談者が訪れ、昨年から開始した試みに引き続き高いニーズを感じました。

会場にはヒバゴンも駆けつけて庄原市への帰郷をPRし、子どもや帰省客たちから注目を集めていました。

移住や空き家活用に関する相談は、自治定住課(☎0824・73・1257)で随時受け付けています。お気軽にご相談ください。

### 商工林業課 庄原市で働こう!

庄原市合同就職説明会



東城会場の様子

8月11日に庄原地域で、18日に東城地域で、U・I・Jターン希望者および一般求職者を対象に「庄原市合同就職説明会」を開催しました。

2日間で、42社と延べ27人の求職者が参加しました。各社から会社概要や業務内容、採用などに関する説明が行われ、その後、各ブースに分かれて個別相談を行いました。

参加者アンケートでは、「いろいろな企業について知ることができて良かった」「企業と個別に相談ができて良かった」などの声がありました。